

# 第22回KYOのあけぼのフェスティバル2010

～響き合い 地域・いのち つなげる未来～

京都府では、男女共同参画を推進し、女性のチャレンジや活躍をアピールする場として、毎年、KYOのあけぼのフェスティバルを開催しています。

今年度は、「第26回国民文化祭・京都2011」の京都文化年イベント絵巻に参加し、オープニングでは園部高等学校・同附属中学校による日本古来の伝統芸能「吟詠剣詩舞」を実施しました。

また、東レ経営研究所特別顧問の佐々木常夫<sup>ささきつねお</sup>さんの講演をはじめ、NPO法人、大学生、地域団体等や実行委員会構成団体による多種多彩なワークショップや、実行委員会構成団体、男女共同参画センター起業セミナー修了生等との協働によるあけぼのバザールの展開により、ワーク・ライフ・バランスや男女共同参画による豊かな地域社会づくりについて多様な視点から模索し、世代間の交流やネットワークの拡大強化を図りました。

## PROGRAM

10:00～10:20  
〈テルサホール〉

### オープニング

京都府立園部高等学校・同附属中学校 吟詠剣詩舞部

剣舞 日本刀

剣舞 九月十三夜陣中の作

扇舞 舟中子規を聞く

扇舞 芳野懐古

10:20～10:50  
〈テルサホール〉

### 式典「京都府あけぼの賞表彰式」

10:50～12:20  
〈テルサホール〉

### 講演「仕事も家族もあきらめない」

講師：株式会社東レ経営研究所特別顧問 佐々木常夫<sup>ささきつねお</sup>さん

10:00～15:00  
〈テルサ内各会場〉

### あけぼのバザール

13:00～15:00  
〈テルサ内各会場〉

### ワークショップ

# オープニング



京都府立園部高等学校・同附属中学校  
吟詠剣詩舞部



# 式典



# 京都府あけぼの賞表彰式



(写真左から→)

あらき  
荒木 かおりさん  
(有限会社川面美術研究所所長、絵師)

はらだ きくこ  
原田 紀久子さん  
(特定非営利活動法人アントレプレナーシップ開発センター理事長)

やなぎ みわさん  
(美術作家)



## 講演

「仕事も家族もあきらめない」  
講師：株式会社東レ経営研究所特別顧問  
佐々木 常夫さん



### タイムマネジメントはビジネスパーソンの基本

タイムマネジメントは最も大事なことは何かを正しく働くこと  
タイムマネジメントは時間の管理ではなく仕事の管理  
よい習慣は才能を超える

「仕事も家族もあきらめない」  
講師：株式会社東レ経営研究所特別顧問  
佐々木 常夫さん

## 【主催者挨拶】

京都府知事 やまだ けいじ 山田 啓二



「第22回 KYO のあけぼのフェスティバル 2010」に、府内各地から多くの皆様に御参加をいただき、また、林田議長様、橋本市長会会長様をはじめ、御来賓の皆様におかれましては、御多忙のところ御臨席を賜り、厚く御礼を申し上げます。

そして、本日、京都府あけぼの賞を受賞されます荒木様、原田様、やなぎ様、本当におめでとうございます。各分野で先駆的に活躍され、男女共同参画社会の推進に大きく貢献されました。心から御礼を申し上げますとともに、今後のさらなる御活躍を心から祈念いたします。

オープニングでは、園部高等学校・同附属中学校の吟詠剣詩舞部の皆さんに大変すばらしい演舞を披露いただきましたが、来年、いよいよ「第26回国民文化祭・京都2011」が開催されます。テーマは「こころを整える～文化発心」。心をしっかりと見つめ直し、支え合い、お互いに高めあう京都ならではの心の文化を発信をしたいと考えております。京都は、紫式部や清少納言の時代から、女性が文化的に大きな力を発揮されています。来年の国民文化祭には、各地域において皆様方に御参加いただければと考えております。

この度、京都府では、「明日の京都」という、長期ビジョン、中期計画、地域振興計画、さらにはその基になります基本条例を府議会で議決

いただき、策定いたしました。その中におきましても、「男女共同参画」をしっかりと記しまして、男女共同参画社会の確立に向けてがんばっていきたいと思っております。

また、「明日の京都」と同時に議決いただきました、京都府職員の育児休業の取得に関する条例の改正がテレビ等で取り上げられました。今年、京都府で初めて管理職の男性職員が育児休業を取りましたが、彼が育児休業を取る際に、取れない問題がいくつも出ました。既存の制度では、女性が育児休業を取ると、男性が取得する余地がほとんどありませんでした。これでは育児の負担がどちらかに偏ってしまい、男女共同参画にはならない。そこで、おそらく全国でも初めてだと思いますが、制度を柔軟化し、お互いが協力し支え合って育児ができるよう、府議会の議決を得て条例改正をいたしました。

男性が育児をすることの難しさや社会における問題点について考え、それをしっかりと発信し、皆が育児休業を取ることができる世の中にしていくことが一番大切だと思っております。私たちは、常に男女共同参画を進歩させたいと思っており、小さな進歩ではありますが、一つひとつ京都府政も前に進んでいることを御報告申し上げます。

最後に、このフェスティバルを運営いただいております、田中実行委員長はじめ、実行委員会の皆様に心から御礼を申し上げますとともに、京都府女性の船も30年を迎え、各地域で女性の皆様が、未来の京都づくりに向けて、新しい地域振興のための取組をしていただいていることに対しまして、心から御礼を申し上げます。私のあいさつとさせていただきます。

本当にありがとうございます。

【主催者挨拶】

## KYOのあけぼのフェスティバル実行委員会委員長

たなか たづこ  
田中 田鶴子



皆様おはようございます。

本日は、「第22回KYOのあけぼのフェスティバル2010」を開催いたしましたところ、山田知事様、府会議員の先生方をはじめ、府内市町村長様、そして多くの府民の皆様方に御参加をいただき、誠にありがとうございます。

はじめに、本日、栄えある「京都府あけぼの賞」を受賞されます皆様方に、心からお祝いを申し上げます。今年度も、各分野で先駆的に活動・活躍され、輝いておられる女性が表彰されます。御受賞をお慶び申し上げ、引き続き御活躍を心からお祈り申し上げます。

さて、今年度のフェスティバルも実行委員の皆様と企画検討を重ね、本日の開催を迎えることができました。オープニングは、国民文化祭が来年度に開催されるということもあり、府立園部高等学校と附属中学校の吟詠剣詩舞部の皆様に、日本古来の伝統文化を御披露いただきました。そして、式典の後は、東レ経営研究所特別顧問の佐々木常夫様に御講演いただき、また、館内の各会場では、地域で実践活動を展開しておられる様々な団体の御参加により、ワークショップやバザールを多彩に取り組んでいただい

ておりますので、どうぞ皆様方お時間の許す限り御参加いただきたいと存じます。

また、今年度は、南丹市さんと宇治市さんと一緒に各々の地域で、フェスティバルを開催させていただきました。このKYOのあけぼのフェスティバルの輪がこうした地域との連携により、大きく広がりつつあることを大変心強く思っております。

京都府では、今年度末に「京都府男女共同参画計画-新KYOのあけぼのプラン-」の計画期間が終了するため、新たな「男女共同参画計画」の策定に向けて、この度、中間案を取りまとめられました。

社会の多くの分野で活躍する女性が増え、また、男性も仕事だけでなく、家事・育児や地域活動へ積極的に参画されるなど、男女共同参画社会の実現に一定の進展が見られますが、育児・介護等と仕事との両立や、ドメスティック・バイオレンスの問題など、男女を取り巻く課題は数多く残されております。

そのような中で、私たち一人ひとりが男女共同参画を自分の問題として考え、希望あふれる明るい未来に向けて、様々な分野で協力、協働を進められるよう取り組んでまいりたいと考えています。

最後になりましたが、今年度も、多くの企業・団体の方々に御協賛いただき、このフェスティバルが盛大に開催できましたことに御礼申し上げます。私のあいさつとさせていただきます。

ありがとうございました。

【祝辞】

京都府議会議長 はやしだ ひろし 林田 洋



「第22回KYOのあけぼのフェスティバル2010」が、府内各地から、多くの方々の参加を得て、御盛会の内に開催されますことを、心からお慶び申し上げます。

本日は、京都府議会から、角替副議長をはじめ、多くの府議会議員の皆様が出席ですが、代表いたしまして、一言ごあいさつを申し上げます。

はじめに、本日、栄えある「京都府あけぼの賞」を受賞されます皆様に、心からお祝い申し上げます。皆様は、男女共同の社会参画はもとより、それぞれの分野において、先駆的な活動を展開され、顕著な功績をあげられた方々であります。御受賞をお慶び申し上げ、引き続き御活躍を、心からお祈りする次第であります。

本年でこのフェスティバルも22回目を迎え、年々、内容の充実が図られておりますが、このように、府内各地、様々な分野からの参画を得て開催されますのも、田中実行委員長様をはじめ、関係の皆様方の御尽力、また、継続した取組の努力の賜物であり、改めて、敬意を表する次第であります。

さて、女性の社会参画は、着実に前進しておりますが、一方で、女性の役職登用や労働条件、女性に対する暴力など、多くの課題を抱えております。

また、近年、少子・高齢化、核家族化に伴い、地域の力は減衰し、男女相互が抱える重大な課題は山積しており、この解決に向けた取組が重要であります。

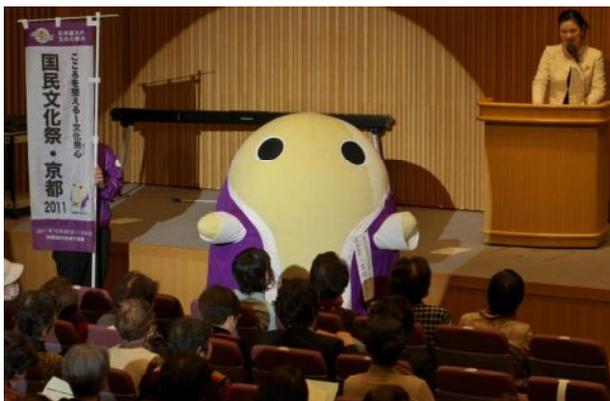
本日、御参加の皆様は、様々な分野で自らの力を発揮され、地域においても、素晴らしい活躍をされている方々であります。皆様には、これからも、男女を問わず、個々の能力を最大限に生かすことのできる、心豊かな社会の実現に、大きな力を発揮いただき、また、家庭や地域では、今日的な課題をしっかりと見つめていただきながら、その解決に向けた取組に御奮闘いただきますよう、御期待申し上げる次第であります。

京都府議会は、引き続き、人権を尊重し、それぞれが社会的な責任を果たし、個人の能力が十分に発揮できる社会の実現、また、その個性を活かしながら地域の力を再生し、安心、安全な社会を実現できるよう、全力を挙げて取り組んでまいる所存であります。

結びに当たり、このフェスティバルの御成功と、御臨席の皆様方の御活躍、御健勝を心から祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

本日は誠におめでとうございます。

## 【第26回国民文化祭・京都2011 PR】



「第22回KYOのあけぼのフェスティバル2011」に、京都国民文化祭PR隊長の「まゆまろ」が登場し、会場を盛り上げました。

国民文化祭とは、全国各地で様々な文化活動に親しんでいる個人や団体が日ごろの成果や実力を披露するため全国各地から集まり、発表・交流することにより文化活動への参加の気運を高め、新しい文化芸術の創造を促す「国内最大の文化祭典」です。

平成23年秋、第26回国民文化祭の舞台は京都です。開催期間は2011年10月29日～11月6日。この9日間に京都府内すべての市町村で約70のフェスティバルが予定されています。

